

夜間中学と連携して実施する日本語教育(補助対象事例)

地域日本語教育の課題

学習環境として適切な日本語学習の場所を安定的に確保できない。

夜間の日本語教室が少ないため、就労者等に対する日本語学習機会が十分でない。

夜間中学の課題

日本語学習を主目的とする夜間中学の入学希望者もあり、学校の体制と入学希望者のニーズに乖離がある

日本語指導ができる日本語教師が配置されているケースが少なく、現場の教員の負担が大きい

双方の課題を改善する取組として、夜間中学の場所を活用して、夜間に、地域にも開かれた(初期)日本語教室を開催

